平成26年
第 87 号

大鋲協

9 月20日
発　　行

大阪鋲螺卸商協同組合
http://www.daibyokyo.com



蓮池潭　龍虎塔　　北川浩史

目次

◇小林理事長 挨拶 …… 2
◇第44回通常総会 …… 2～3
◇組合だより …… 3
◇BCP策定支援制度のご案内 …… 4
（大阪府商工労働部）
◇特別寄稿 六角ボルト・ナット規格改正動向 … 5
（西　幸男）
◇委員会だより …… 6～8
◇支部だより …… 8～10
◇BCP説明会 …… 10
◇ねじ商連 第39期通常総会 …… 11
◇第2回ランニング同好会 …… 11
◇OS会の頁（山里憲一郎、藤本翔平）…… 12～13
◇随想投稿欄 …… 13～16
（前野幸司、山口隆平、園田徳郎
前原　聡、矢野裕一）
◇2015年版ファスナーカレンダー …… 17
ねじ手帳、ダイヤリー発刊
◇第40回ボウリング大会 …… 17
◇第66回野球大会 …… 18
◇第5回硬式テニス大会 …… 19
◇第12回 大鋲協 懇親コンペ …… 19
◇神戸製鋼所 見学会 …… 19～20
◇第27回FE STセミナー …… 20～21
◇「ねじLOD」最優秀賞に …… 21
◇シリーズ 私の宝物（大江伸生）…… 22
◇表紙のことば（木村嘉兼）…… 22
◇今後の主な年間スケジュール …… 23
◇編集後記 …… 23
◇協賛広告 …… 24

大鋲協発展のために
「クロポトキンとダーウィン」

理事長　**小　林　三　洋**



理事長を仰せつかり一年が過ぎました。大過なく務めさせていただきました。これは偏に組合員皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。特に各委員会では委員長はじめ皆様の献身的な活動に頭が下がります。また副理事長、専務理事の方々には私の至らぬところを補って頂きありがとうございます。

定款にありますように我々の目的は一つ。『相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ること』です。

ダーウィンの進化論はあまりにも有名で評論家、政治家、経営者がよく引用いたします。しかし、ダーウィン自身「あらゆる生物の中で、進化論に一番あてはまらないのは人間だ」と言っております。人間はほかの動物に比べ進化の時間が異常に早かったのです。またダーウィンの共同研究者であったアルフレッドウォーレスも「人間だけは自然淘汰の原理がはたらいていない」と述べました。

それに対しクロポトキンは生物界には確かに生存競争があるが、それよりもよく観察すると「相互扶助」の原則の方がはっきりと示されていると説きました。これはあらゆる動物に見られ、哺乳類はもとより、仲間の死を悲しむ鳥、アリの共同生活と団結ぶり、仲間の危機を助けるカニなどを紹介しています。

つまりクロポトキンは、生存競争より相互扶助の方が生物の発展、進化に寄与したと言っています。

現在の日本では、倫理や道徳教育が無くなり、人間の心のあり方が過去と現在で大きく変わりました。そして高い精神性が失われたことが、日本が国民の幸福度の低い国になった大きな理由だと思われます。

私ども大鋲協においても不毛な価格競争やシェア争い、自社さえ良ければという経営ではなく、「人を育てる」という経営の基本を大事にし、「相互扶助」の精神を以て「感謝し」「共に勝つ」ことを目指し、微力ながらねじ業界の地位向上に向かいたいと考えております。

今後共ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第44回通常総会を開催
計8議案を審議、承認

第44回通常総会が５月23日、大阪市中央区の“ヴィアーレ大阪”で開催され、平成25年度事業や収支決算報告、平成26年度事業計画、収支予算など計８議案が審議・承認されました。

総会は久保哲也総務委員長の司会で進められ、最初に組合関係物故者の冥福を祈り黙祷が捧げられました。次いで組合員１０６名中当日出席69名、委任状提出33名、計１０２名により議決有効が報告されました。

小林理事長は、日頃の組合運営への感謝や総会参加御礼の言葉とともに「昨年私は“全員感謝”の旗印を掲げましたが、例えば夫婦、親子、家族、会社、お取引先まで、互いに感謝し合える下地があってこそ“Ｗｉｎ－Ｗｉｎ”の関係も成り立つと思います。

わが国経済は東日本復興需要、政府・日銀の財政出動による景気回復から若干明るい兆しが見えています。しかし消費税率アップの影響がどこまであるのか、貿易収支も大幅な赤字、電力需給のひっ迫など不透明な状況も

続いています。

ねじは製品の性格上、あらゆる所で使われ、あらゆる産業に関わっています。その意味で組合員により“温度差”こそあるでしょうが、まずまずの状況で推移しているのではないかと思います。本日は皆様の速やか、かつ慎重審議をお願いします」と開会挨拶を述べました。

そして組合事業協力者表彰に移り、特賞９社、金賞９社、銀賞12社、銅賞15社が受賞、代表して特賞のサンコーインダストリー㈱はじめ計45社の各賞代表に、小林理事長から感謝状と記念品が贈られました。また銅賞規定に満たない事業協力者（計11社）にも記念品が贈呈されました。

このあと近藤淳氏（アジアプランニング㈱）を議長に選出し、議案審議に入りました。

上程議案は、①平成25年度事業報告承認の件（説明者・増谷彰彦副理事長）、②平成25年度収支決算承認の件（同・勝亦良彰専務理事）、③平成25年度剰余金処分案承認の件（同・小林理事長＆監査報告・山田一仁監事）、④平成26年度経費の賦課する額並びに徴集の時期及びその方法承認の件（同・小林理事長）、⑤組合借入金残高の最高限度額承認の件（同・小林理事長）、⑥平成26年度事業計画承認の件（同・谷川清石副理事長）、⑦平成26年度収支予算案承認の件（同・勝亦専務理事）、⑧その他（同・中西真吾事務局長）。

最後に池田哲雄相談役・理事の音頭による万歳三唱、西幸男副理事長による閉会挨拶が行われ総会を終了しました。

引き続き懇親会が、大阪府商工労働部や大阪府中小企業団体中央会など関係諸官庁・団体からの来賓多数を交えて開かれました。



挨拶する小林理事長(中央)

組合だより

◇表彰関係

受賞おめでとうございます。

◎大阪府知事表彰（産業功労）

第一ボールト株式会社
代表取締役社長　小林　三洋　氏
（平成26年5月）

◇新社長就任

○中央支部所属

・岡總株式会社
代表取締役社長　尾﨑　正洋　氏
（平成26年6月）

○九条支部所属

・株式会社 オーワハガネ工業
代表取締役　八部　耕一　氏
（平成26年2月）

◇新住所

・ミヤガワ金属販売株式会社
〒537-0024　大阪市東成区東小橋2-7-6
TEL番号 06-6975-5028
FAX番号 06-6975-5038

◇訃報

○東部支部所属

・株式会社 宝螺子製作所
取締役会長　谷口　豊　様
（平成26年2月13日ご逝去）

・株式会社 オオヤマ
取締役相談役　北神　勲　様
（平成26年6月21日ご逝去）

○中央支部所属

・小林鋲螺株式会社
代表取締役　小林　敬　様の
ご母堂　小林　悦子　様
（平成26年5月4日ご逝去）

○九条支部所属

・株式会社 大福金属
代表取締役　木村　登　様
（平成26年8月30日ご逝去）

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

大阪府は、BCP（事業継続計画）の策定を推進しています！

大阪府では、大阪府商工会連合会、商工会・商工会議所と連携し、府内企業へのBCP策定支援をはじめ、BCPセミナー・ワークショップ等を開催し、事業継続の取組を推進しています。

BCP（事業継続計画）の策定は、事業を取り巻く様々な脅威への対策だけでなく、取引先に対する信頼性の向上に資するとともに、経営改善、業務の効率化など企業の経営力強化につながるものです。

平成26年度は、下記のとおり、事業継続に関する支援策を提供しておりますので、是非ご活用ください！

事業を取り巻く様々な脅威


家畜伝染病


伝染病・感染症


自然災害


テロリズム



情報セキュリティ事故


サプライチェーンの途絶

●BCP策定支援制度（大阪府商工会連合会実施）

「中小零細事業者用　事業継続計画（BCP）策定ガイドライン」を用い、BCP策定の専門知識を持った経営指導員及び専門家によるBCP策定の支援を行っています。策定支援メニューは3コースあります。

【Aコース：簡易版BCP策定支援】2日支援、費用：無料
※ 数名～20名規模の組織にお勧めのコースです。

【Bコース：BCP策定支援】4日支援　費用：30,000円（税抜）
※ 20名以上の規模の組織にお勧めのコースです。

【Cコース：BCPブラッシュアップ支援】2日支援　費用：無料
※ 既にBCPを策定されている組織にお勧めのコースです。

※日程については応相談



●セミナー・ワークショップの開催

平成26年度は、下記の府内商工会・商工会議所でBCP・BCM（事業継続マネジメント）に関するセミナー・ワークショップを開催します。

お近くの地域でぜひご参加ください！

・岸和田商工会議所　：平成26年8月5日（火）〔実施済〕
・大東商工会議所　　：平成26年9月9日（火）〔実施済〕
・貝塚商工会議所　　：平成26年9月26日（金）〔9/18締切〕
・八尾商工会議所　　：平成26年9月26日（金）〔先着順〕
・東大阪商工会議所　：平成26年10月23日（木）
・大阪商工会議所　　：平成26年10月24日（金）
・高石商工会議所　　：平成26年11月13日（木）
・吹田商工会議所　　：平成26年11月20日（木）

●府HP等を活用した情報発信

府HPでは、事業継続に関する国・支援機関等の支援情報やリスクの情報収集に役立つサイトをご紹介しています。

また、府がBCP策定を支援した企業30社の取組事例をまとめた事例集もダウンロードできます。

事業継続に取り組みましょう！

クリック!　大阪府　BCP　検索

<お問い合わせ先>
大阪府商工労働部中小企業支援室経営支援課企画調整グループ
〒559－8555　大阪市住之江区南港北1－14－16（咲洲庁舎25F）
TEL：06－6614－0871　FAX：06－6210－9504

特別寄稿

六角ボルト・六角ナットの規格「附属書I」は「附属書JA」へ置き換え存続

ねじ業界の取り組みの方向性と今後の問題

副理事長　JIS検討委員　　西　幸男



８月１日、日本ねじ商工連盟通常総会において、本年４月の六角ボルト・ナットのＪＩＳ改正公示を受けて、（一社）日本ねじ工業協会、日本ねじ商業協同組合連合会の連名で、今後のねじ業界の取り組み方を検討して取り纏めたパンフレット「附属書品から本体規格品への切り替えガイド」が発表されました。本件については、（一社）日本ねじ工業会・日本ねじ研究協会の共催で、９月後半に東京・大阪の２会場で、これから増えてくる本体規格品と附属書品の混在による問題への対応方法の確認、ねじ業界としての取組み・方向性について説明会が開催されます（組合員各位には８月案内済みです）。

業界としての方向性、改正の要点、今後の問題点について纏めてみます。

「改正附属書ＪＡ１」の適用範囲に「この附属書は将来廃止するので、新設計の機器、部位などには使用しないのがよい」との付記があることから、ねじ業界は本体規格品を推奨し２０２０年までに生産・供給体制を整える活動を進めていく方向性を示しています。会議の中では、建設・建築業界に本体規格品のＰＲ活動を通して今後の活動に相当な苦労がいるであろうとの報告がありました。理由は部品図・設計図面の修正は自社のみならず関連企業を含めると約２０００社余りに波及しており修正すると相当な時間と費用が掛かる。また工事業者の工具類の費用負担など多くの課題がある。総合的な判断から、附属書製品を大臣認定品に申請して継続使用することも選択肢として考えているなど、業種によっては、一様には行かないことが考えられます。

懸念していた製品の識別方法は、六角ボルトの本体規格品は、頭部上面に凸マークを付けることになっています。ナットは強度表示が相違する為に識別マークは必要としないとなっています（例を挙げると、附属書は８Ｔとか「Ｔ」がある。本体規格は「８」の数字のみ刻印です。規格表示上の判断でそのようになったと思います）。

ここで問題と考えるのは、ボルトの場合は識別マーク有りが本体規格品となるので問題がありません。しかしナットの場合は、現在流通している附属書製品には強度区分表示が無いのが大半であると認識しています。仮にM10の１種形状は附属書品と判断出来ても２種のマーク無し製品は、何れの規格品かは目視の識別は困難かと思います。

もう一つ問題と考えるのは、六角ボルトの部品等級と強度区分及びねじの公差域クラスの関係です。本体規格の呼び径六角ボルトの場合、部品等級Ａ及びＢは、強度区分5.6、8.8、9.8、10.9の規定があり最少強度区分は5.6です。ねじ公差域は６ｇです。部品等級Ｃでは同じく3.6、4.6、4.8でねじ公差域は８ｇです。現在多く使用されている附属書の六角ボルト（仕上げ程度　中、６ｇ）中ボルトと称されている製品は、形状は座無しで強度区分4.8であることから、部品等級はＣを選択しますと、ねじ公差域は８ｇとなるのでねじ公差域が問題となります。また座付形状の部品等級Ａ又はＢは、最少強度区分が5.6となり強度区分の了承を得られるかが問題となります。（本体規格で強度区分4.8は部品等級Ａ及びＢには無く、部品等級Ｃになるため）

今後ねじ業界としては、商工一体となって「本体規格品」の使用を推奨していくことが決定されています。このような事象を解決していく為にも説明会等に積極的に参加をして頂き、規格の相違ポイントや取り組みの方向性を確認していただくことが大切です。不適合や損失を出さないよう各社が懸念する問題点を解決して、社員教育に取り込み生産地商社としての供給責任を果たせるよう、真剣に取り組んでいく重要な時期であると思います。

委員会だより

経営委員会だより

経営委員長　三木　茂晴

残暑お見舞い申し上げます。まずもって、皆様に感謝です。日ごろ経営委員会事業にご参加・ご協力頂きありがとうございます。

恒例行事となっております第７期社長塾を７月９日に無事終了できました。ありがとうございます。今期も若手創業者から円熟社長まで、パラリンピックで活躍から人生終いの墓石まで。さまざまな経営者に来ていただき御講演いただきました。

３Ｄ技術による心臓模型の精密さには舌を巻きました。これから手術する人の心臓模型を製作し、医師が事前に練習ができ成功確率を格段に上げている。経験不足の若手医師の技術向上に活用されている。大きく貢献していることを知りました。

塾生一同、講師の方々との交流で一段とレベルが上がったのでは？と…思っています。来期も第８期社長塾開催しますので、みなさまよろしくお願いします。

また、経営委員会の事業のもう一つ、年末の講演会を12月に開催します。多くの方に御参加頂けますようお願い申し上げます。残すところあと半年、経営委員会をどうぞよろしくお願いします。

忘年会と日本ねじ商連総会に向けて

総務委員長　久保　哲也

平素は総務委員会の活動にご協力頂き有難うございます。

総務委員会の今後の行事は、年末恒例の忘年会を、12月５日にホテルモントレグランスミア大阪にて執り行う予定です。今年も例年同様、多数の景品と催し物を予定しております。

また来年の新年互礼会は、１月９日にヴィアーレ大阪にて行います。今回は大鋲協単独で行う年です。年末年始のお忙しい時期ではありますが、多数の方のご参加をお待ちしております。

さらに来年は、日本ねじ商連の総会があり、今回は８年に一度の大鋲協が担当する年に当たります。日時は来年の７月24日から25日で、兵庫県の有馬グランドホテルで行う予定です。東京、神奈川、愛知の多数の組合員をお迎えしての行事となります。皆様方のご意見を拝聴しつつ、準備を進めていきたいと考えています。今後ともご協力をお願い申し上げます。

労務委員会活動に関して

労務委員長　藤澤　義弘

早速ですが、労務委員会より組合の皆様へ御報告を致します。

今期スタートは工場見学として㈱神戸製鋼所　神戸製鉄所（阪神電車・新在家駅近く）へ６月17日訪問しました。我々側はスタッフを含めて75名での訪問で、専属バス３台に分かれて工場見学の工程を組んで戴き、先方は10名近くでのフォローを戴きました。６月の盛夏前とはいえ構内は熱く、参加者は高炉での作業がいかに大変かが少しでも印象に残っていれば主催側の嬉しい所です。

11月にはＦＥ図面の見方コースとＦＥ・ＪＲコースを開催します。ＪＲコースは入社１年目～３年目位で営業・間接部門問わず、男女関係なく受講をして戴きたい内容です。ＪＲコースの講師は日本鋲螺㈱　西川社長です。西川先生が熱く語り、ねじ大好き！になる為の引き出し造りへ、大いに役立つ中身のギュッと詰まったセミナーとなっています。残念ながら西川先生の回は今回が最終セミナーとなりますが、平成27年度から講師として㈱三和鋲螺製作所　樫本会長にお願いをしております。

今期最終は来年３月に、西川先生を講師にＦＥ・ＳＴセミナーを開催します。これは通い２日間のセミナーで、先のＪＲセミナー受講内容の上のレベルであります。入社３年目～位、男女関係なく仕事上ねじの専門知識を使いユ

ーザーとメーカーの橋渡しが出来、社内でリーダーやねじの指導者となるべき人達が対象と考えています。此処まではスケジュールです。

労務委員会から理事会へ提案中の事ですが、ＦＥセミナーを総括したＦＥ検定（以前ＰＲＯ検定と呼称）の計画に関してです。セミナー時には出題を理解できても、日が経つとおぼろげになるかもしれません。又、セミナーには参加しなくても検定を受けてレベルを確認するだけの方々の事も考えて、検定開催を計画中です。

手さぐり・手作りの中で、皆様のご意見をすべて反映すべく努力しております。検定の意義は、セミナー受講生がその後ＦＥ検定を受検（受験ではない）し合格出来ればある程度のステータスを感じてもらえるように、また輩出会社にとっても意義を感じてもらえるようにと、進め方を委員会並びに協力者の皆様と創り込んで参ります。

今後とも組合各社の皆様のご理解・ご協力を頂戴し、組合各会社社員様の技能向上への一助となる活動を目指し、スタッフ一同行動してまいります。

ホームページについて

広報委員長　中上　真一

そろそろ秋冷の時期になりますが、いかがお過ごしでしょうか。早いもので２０１４年も残すところ３ヶ月少々になりました。例年になく水害の多い年のように思いますが、皆さんが息災であることを願うばかりです。

今回も多くの方のご協力により、広報誌「大鋲協87号」を無事発刊することができました。本当に有難うございます。また少し前になりますが、ホームページ利用についてのアンケートにもご協力いただき、重ねて御礼を申し上げます。有難うございました。

現在の組合ホームページは、４年余前にリニューアルされたものです。（“不得手・不慣れ”な私の感覚は「割と最近」なのですが、）今の時代は、その感覚では通用しないのかもしれません。ホームページは世間に対する組合の顔という側面もあるので、手の込んだものは無理でも、それなりにしっかりしたものにしたいと思いますが、なにぶん“不得手・不慣れ”な私が広報委員長ですので、皆さんの期待に添える自信は全くありません。

ともかく、アンケート結果を参考にしながら、年度内を目標に、リニューアルとまではいかなくとも、何らかの改善に取り組みたいと思いますので、皆さんのご指導・ご助言そして更なるご協力を宜しくお願いします。

天候不順

福利厚生委員長　本田　裕久

残暑お見舞い申し上げます。平素は福利厚生事業にご協力、ご参加頂き有難うございます。

今年も大鋲協恒例の野球大会が7月27日より開催されました。しかし、初日は突然の雨により2度の中断のすえ、やむなく昼すぎに中止決定…。選手の皆様には京都まで足を運んで頂いたのに申し訳ございませんでした。２日目、大阪は雨でしたが京都は雨もなく９試合が無事消化できました。残るはあと４試合と準決勝、決勝の３試合のみ、と安心したのも束の間、３日目は台風に見舞われ前日に中止決定。天気には勝てませんね。

残り試合は９月７日に２面使い宇治市の太陽ヶ丘にて開催することにいたしました。選手の皆様にはトリプルヘッダーもあり、負担をお掛けしますがよろしくお願い致します。

また大会運営に携って頂いた委員の方々、プレスの方々、本当にお疲れさまでした。お忙しい中、有難うございました。

今後、福利厚生委員会では、秋にテニス大会、冬にはボーリング大会を予定しております。皆様方の多数のご参加をお待ちしております。（８月17日投稿）

商品に「ソースマーキング」を!

ＥＤＩ委員長　大喜多　正己

日頃は当委員会にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、私たちが日常、スーパーや百貨店、ネット通販などで購入する商品には、バーコードが付いているのがごく当たり前となって既に久しいです。これらは小売店のレジはも

ちろんのこと、メーカー出荷から流通の各段階で、様々な場面で有効に活用されており、今ではバーコード抜きでの業務システムなどあり得ないという企業も非常に多くなっています。このように、メーカー出荷段階からバーコード等で商品コード等を商品上に表示することを「ソースマーキング」といいます。

翻って私たちの業界を眺めますと、ごく一部の商社が自社独自仕様のソースマーキングをメーカーにお願いしている程度で、当然、利用は個別企業の中で完結してしまっているのが現状です。この面に関して私たちの業界は、世の中から20～30年遅れていると言っても過言ではありません。

ソースマーキングされていれば是非利用したいと考える企業は、大鋲協の中でも多くなってきていると思います。しかし、個別の企業がバラバラのソースマーキングをメーカーにお願いするというのは、メーカーの立場でも非常に大変ですし、また多くの組合員企業は恩恵に浴せないでしょう。マーキングの方式や内容が業界内で統一され、すなわち私たちや更にその販売先が購入するねじ製品すべてに同じ方式のマーキングがなされていて初めて、ソースマーキングは真に重要な「業界インフラ」となります。そうなればまた、ソフトウェア会社もそれに対応したシステムをローコストで提供できるようになります。

ＥＤＩ委員会では、このソースマーキングの業界標準の策定に向けて、活動を開始します。皆様方のご理解とご助力を、どうかよろしくお願い申し上げます。

一方、上記とは別に、現在ＥＤＩ参加企業が共通で利用しているソフトを、ウィンドウズやブラウザの上位バージョンに対応させていく必要が出てきました。コストのかかる話ではありますが、今期のＥＤＩの収益の範囲内で収まるように配慮して参りますので、こちらもまたご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

各種事業の経過

業務委員長　垣内　龍夫

平素は業務委員会の各種事業に対しまして多大なるご支援を頂き厚く御礼申し上げます。

さて本年度も例年通り、ファスナーカレンダー、ねじ手帳、Ａ５ノート版ビジネスダイアリーを販売致しましたところ、すべてが前年度を上回る部数となりました（８月22日現在）。これもひとえに各委員の皆様はもとより、組合員各社、組合事務局のご協力のおかげであると心より厚く御礼申し上げます。

またカーリース、各種保険事業につきましても微増ではありますが、契約が成立しております。自動車の購入、新規保険、保険の見直しの際にはぜひとも組合事務局にご一報ください。迅速に対応させて頂きます。

また購買事業におきましても、各社のご協力のおかげをもちまして販売目標に向け順調な滑り出しかと、考えております。

これらの事業のすべてが組合の財源に大きく寄与しておりますので、今後とも皆様方のご理解を頂きますよう、よろしくお願い致します。

支部だより

今後とも宜しく

中央支部長　小西　弘美

私が支部長を拝命して、早くも二期目となりました。支部の皆様には何かと支部活動にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我々中央支部は組合員同士の結束を図ることを目標に活動を行っている中、非常に若い経営者の方が増えております。支部のさらなる活性化と今後の支部の中核として、活躍していただけるものと考えております。そのような状況で当然の事ではありますが、組合の有り方や考え方に於いても、経営者の

方によって違うかと思います。

経営環境も日々大きく変化する中で、我々の商売も変革を求められることが多いかと思われますが、中央支部は「定款総則第１条組合員の相互扶助の精神に基づく」を大切に益々支部の結束が図れます様、頑張って行きますので、皆様のご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

今後の支部行事として、８月に暑気払いの食事会として計画しておりましたが、９月か10月に変更して食事会を予定しております。その折には、奮ってのご参加をお待ちしております。

まだまだ残暑も厳しいですが、支部の皆様におかれましては、くれぐれもお体にご留意ください。

次回の秋の食事会は、全社でのご参加を頂き、親睦を深められる事を心から楽しみにしております。

支部の行事

西部支部長　原田　棟弘

平素は、西部支部活動に、ご協力を頂き誠に有難うございます。

さて今年も、７・８月は猛暑日が続き、その上、台風による風で各地で屋根瓦等が、飛ばされる被害、想像を絶する雨の降り方で洪水が各地で発生して、死者まで出ました。来年はこのような事が無いことを、祈っています。

今年の支部旅行の報告

６月６～７日の日程で鹿児島へ

１日目 ＝ 霧島の黒酢レストラン　栫志田（かくいだ）、桜島・指宿温泉（指宿白水館）

２日目 ＝ 長崎鼻・開聞岳・枕崎（白波明治蔵）、知覧（武家屋敷）（知覧特攻平和会館）

黒酢作りでは信楽焼きの瓶を２万個ぐらい使用して年代ものから、一般ものまで作っているとのことでした。昼食ではこだわりの黒酢を使った料理を大変美味しくいただき、黒酢を堪能致しました。

桜島では観光に行く２～３時間前に噴火があったため、道路等が火山灰で白くなるほど積もっていました。そのため溶岩展望台から眺めることが残念ながら出来ませんでした。

宿では、全員が砂むし温泉（砂風呂）を体験しました。心も体もリフレッシュで明日への活力が沸いたような気に成りました。

今後とも全員参加でよろしくお願いします。

来年も旅行幹事さん、珍企画を楽しみにしています。

初の試み大相撲観戦

九条支部長　馬渕　健司

残暑お見舞い申し上げます。今年の夏も暑い日が続きましたが、組合員の皆様方はいかがお過ごしになられましたでしょうか？。

各地で集中豪雨による土砂災害が発生し、年々自然の脅威を感じざるを得ません。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。

さて、九条支部では３月に大相撲観戦に行って参りました。初の試みでしたが、多くの方にご参加頂きました。体のぶつかる音、飛び散る汗、息づかいまでも身近で感じることができ、テレビとは比べものにならないくらい迫力満点でした。参加された方にも楽しんで頂けたのではないかと思います。お世話頂きました平野様有難うございました。

今後の支部行事としましては、９月に恒例の九伸会ゴルフコンペ（本田支部と合同）、日程・行先未定ですが、懇親旅行を予定しております。詳細決定次第ご案内申し上げますので、是非全員ご参加下さいますようお願いします。

つながりを大切に

東部支部長　鈴木　啓次

残暑お見舞い申し上げます。組合員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

我が東部支部ですが、去る７月18日に恒例になってきました納涼会を御堂筋沿いにある心斎橋モノリスで開催しました。支部会員代表者、代表ＯＢ、メインゲストは組合員の従業員、総勢70名と生ビールのサービスをしてくださるコンパニオンさん８名。

途中のアトラクションでは沖縄民謡やものまね芸人さんのゆうたく金ちゃんと民謡の女性歌手で盛り上がり、組合員の従業員のパワ

ーに圧倒されながらのあっという間の２時間30分を楽しみました。組合員はもとより従業員との触れ合いやつながりを大事にしたいものです。

本年の行事は10月31日、11月１日の支部旅行、伊勢志摩への近鉄特急「しまかぜ」に乗り、志摩のグルメ料理と伊勢神宮、外宮の参拝をメインに内宮とおかげ横丁を散策予定。支部の皆様、ぜひ参加して盛り上げて下さい。

活気ある本田支部

本田支部長　武田 等

平素は、本田支部活動にご理解ご協力を頂き、誠に有難うございます。

今年の夏は、異常気象なのか正常なのか、猛暑あり、台風ありで、淀川花火大会も中止になったり、雨の多い夏でした。組合員の皆様は如何お過ごしでしょうか。広報誌が発行される９月20日頃には、すごし易くなっていると願っています。

本田支部の行事報告ですが、３月８日～９日に、本田支部懇親旅行を小川様、川西様のお世話により、16社中15社の参加で、冬の城之崎温泉を散策し、雪景色が残る山陰を堪能して参りました。

４月１日には、毎年恒例となりました、京セラドームでのプロ野球を谷川様のお世話で観戦しました。他の支部の方々も沢山来られていて、楽しい時間を過ごすことが出来ました。５月９日には支部総会を、野島様のお世話で『銀呈』にて開催しました。７月15日には支部幹事会を開催し、本年度の計画を話し合いました。本部よりの活動費支援もあり、今期も支部懇親旅行の実施を検討しております。

お世話する支部幹事は、副支部長に富士鉄工所の山本氏、会計幹事に小川レール商会の小川氏、幹事に松島ネジの松島氏、川西製作所の川西氏、野島製作所の野島氏です。今期も、全員参加をめざし、支部幹事と共に協力して、活気ある支部運営をしていきたいと考えています。

懇親会の中で、活発に情報交換をしていただき、毎日の仕事に役立てていただければ幸いです。支部員皆様のご協力の程を、宜しくお願い申しあげます。

BCP（事業継続計画）説明会ひらく
“脅威に負けない組織作り”を学ぶ

大鋲協は６月11日、市内中央区の大阪金属問屋健保会館で平成26年度第１回定例理事会を開催しましたが、理事会に先立ち、大阪府商工労働部の協力によりＢＣＰ（事業継続計画）に関する説明会も行われました。

説明会では、勝亦良彰専務理事ならびに大阪府商工労働部関係者の企画説明挨拶に続いて、一般社団法人企業防災共助推進機構代表理事でミネルヴァベリタス㈱松井裕一朗社長を講師に、『企業防災と事業継続 ～脅威に負けない組織作り～』をテーマとした講演を聴講しました。

松井氏は自己紹介に続き、近年は伝染病・感染症や自然災害、テロリズム、情報セキュリティなど従来の「想定“外”」から、「想定“内”」の脅威に対処した事業継続が求められている点を指摘。特に現在、想定されている東南海・南海地震など関西における震災リスクについて具体的に述べ、予め調査してきた出席理事の事業地域における予想震度や津波発生率などのデータを各自に手渡し、改めてその脅威を説明しました。

そして企業防災と事業継続に対する考え方や理解を深めるとともに、ＢＣＰへの取り組み・策定ポイントとして、自社従業員への避難対策はもとより、万一の場合の事業拠点における防災対策、仕入れ・供給先のＢＣＰ把握、各種経営資源の保護といった包括的な対策の必要性を力説、説明会を終えました。

「リーフレット作成委員会」に参加・協力
日本ねじ商連　第39期通常総会を開催

日本ねじ商業協同組合連合会（鈴木建吾会長）は８月１日、東京會舘で第39期通常総会を開催しました。平成26年度事業計画として、「ＪＩＳ六角ボルト・ナット付属書」廃止期限の撤廃で「リーフレット作成委員会」への参加協力などが承認されました。

当日は鈴木会長が議長を務め、下記の議案を審議・承認しました。

①平成25年度事業報告承認の件。②同年度決算報告承認の件。③同年度剰余金処分案承認の件及び監査報告。④平成26年度事業計画承認の件。⑤同年度収支予算案検討の件。⑥同年度経費の賦課金及びその徴収方法決定の件。⑦役員報酬決定の件。

平成26年度事業計画

▽購買斡旋に関する事業＝ねじ総合カタログ・ファスナーカレンダー他。

▽教育情報に関する事業＝参加組合員の経営改善を目的としたセミナー・研修会開催。労務対策・雇用問題改善に必要と思われる各種調査の実施。参加組合員の経営改善に資するための「ねじ流通商社経営実態調査」。「日本ねじ商連会報」の発行。

▽「ねじの日」に関する事業＝「ねじの日」周知の為のＰＲ事業。（一社）日本ねじ工業協会が中心となって推進している「未来開発パブリシティ」に参加協力。

▽ねじの規格に関する事業＝「ＪＩＳ六角ボルト・ナット付属書」廃止期限の撤廃にあたり、日本ねじ工業協会より提案のあった「リーフレット作成委員会」に委員として参加協力を行う。



中之島一帯を40名が快走
第2回 ランニング同好会

増谷彰彦副理事長が世話人を務める『第２回大鋲協ランニング同好会』が３月15・16日、大阪市北区の中之島公園内にあるバラ園一帯で開催されました。

昨年11月に行われた第１回が好評だったことから企画されたもので、両日合わせ述べ14社から計40名が参加、今回もスポーツ用品メーカー・ミズノの協力により、好天のなか参加者は青空の下を颯爽とランニング、清々しい汗を流しました。

午前８時30分、淀屋橋のミズノに集合し地下１階のロッカーで着替えを済ませた参加者は、各々ニックネーム付きのゼッケンをつけて貰い和気あいあいとスタート。今回は初級と中級にメニューを分け、初級が約７km、中級が約13km走りました。ランニングフォームの矯正や、中級クラスは段々とスピードを上げていき、心肺機能の向上を図るビルドアップ走というスピードトレーニングも実施されました。

このほかインストラクターからは、走り方は勿論、ストレッチの方法、長く早く走ることが出来るためのトレーニング方法、靴ひもの締め方に至るまで、様々なランニングに関する相談にも乗って貰いました。

途中、休憩を兼ね２人ひと組になっての柔軟体操などを挟み約２時間あまり走り、程良い汗をかいた後は、ミズノのロッカールームに併設されたシャワー室を借り、サッパリ・充実した気分で約半日ランニングを楽しみ、それぞれ家路に着きました。





初日のスナップ



2日目のスナップ



ＯＳ会の頁

原点回帰

阪神ネジ㈱
山　里　憲一郎

皆さま、こんにちは。

暗い感じではないのですが最近よくこういうことを考えます。それは、「僕は何のために生きているんだろう？」という深遠なるテーマです。文字にすると宗教的にとらわれ、悩んでるん？と言われそうですが、そうではなくて、この原点に気づけばもっと明るい素晴らしい、他の方にも良い影響を与えられる生き方が出来るのでは？と思ってそんなことを考えています。

何不自由のない家庭に生まれ育ち、ねじ屋さんという家業を継ぐのか継がないのかもあまり考えないで就職し、勝手気ままに生きておりましたが現社長の父親に要請を頂き、当時創業者や父親も体調を崩し、社員さんの平均年齢も非常に高く、その将来が心配で何とかしたいという良い思いはあったけれども、経営というものをやってみたいという今から思えば軽い思いで会社に入社したように思います。

そういうことでありましたので、入社してから今までやってきたことは自分のやりたいこと、やってみたいことを「夢」とか「希望」とかいう言葉を使い、皆を巻き込んでそして新しいメンバーにも入ってもらい会社を使ってやってきました。

その結果、良いことも沢山生まれました、色々“すったもんだ”しますが沢山の素晴らしい仲間が入ってくれましたし、どうしてもこの生涯でやりたいと思っている海外とのビジネスも出来るようになってきたりしました。

しかし一方で全然うまくいかないことだらけです、自分が思い描いていたように事業が伸びなかったり、これが一番つらいことでしたが一緒に将来こんなことをしたい！と思って期待していたメンバーが辞めていってしまったり…ここ1年はありがたいことに試練が続いております。

世の中の事象はすべて自分のやってきたこと、思ってきたことが招いたことなんだと思うと至らぬ点があったのだと反省しております。そういう試練と反省を経て最近少しずつですが、自分の本当のするべきことつまりは原点というものを知らないからなのではないか？それをじっくり考え、知り行動しなければならないということがようやく分かってきました。

今年のＯＳ会のテーマは熊田代表の考えの元、まさに「原点回帰」となっております。ＯＳ会についてもなぜＯＳ会という組織を先代の方たちは作ろうとされたのか、また歴史を経て現在のＯＳ会のあるべき姿は何のかを考える、問う１年にしたいと考えています。またそれと同時に自分という個の原点もつかめたらと思います。

小さな温泉街の祭り

藤本産業㈱
藤　本　翔　平

８月３日、奈良県は天川村の洞川温泉にいってきました。目的は毎年この時期に開催される行者祭りの見学です。この祭りに行くことになったきっかけは去年の今頃、灼熱地獄の大阪を脱出するべく川遊びを目的にふらっと訪れたことでした。

元々私は奈良育ちで自然たっぷりの環境で育ちました。そして妻も田舎育ちのせいか、自然と触れ合うことが大好きです。そんな二人なので、時間ができた時はすぐ田舎の方へ、田舎の方へと足が進んでしまいます。と言うと、田舎遊びのベテランのようですが、どちらかというと私は街中が好きな現代人丸出しで、田舎に遊びに行くという発想は全くありませんでした。

最近は少し大人になったのか自然の良さというものが、ようやくわかるようになってきました。都会のうだるような暑さとは違い、山奥の夏の川は涼しさもあり最近のお気に入りです。

昨年、川遊びの帰りに訪れた洞川温泉。偶然にも行者祭りの日でした。祭りが始まった時は、ちょっとだけ見学して帰ろうと考えていました。しかし、思いのほか鬼踊りの行列がおもしろく、ひょっとこを始めとし、地元の青年団の和太鼓、琉球舞、小学生のフンドシ軍団など、とてもバリエーションに富んだ内容でラストまで見入ってしまいました。どんな祭りやと調べてみると修験道の開祖、役（えんの）行者が冤罪で島流しになり、後に無罪となり大峯山に戻った時、村人たちが熱狂的に出迎えた様子を鬼踊りであらわした、大峯山随一の奇祭とのこと。ホウ、全然知りませんでした…。

僕の知っている一般的な祭りとは違い、出店等は一切でません。祭りと言えば出店、むしろそれが祭りに行くメインの目的という浅はかな私の固定観念を打ち砕く程、この祭りの行列はバリエーションに富んでおり、あっという間に時間が経過していきます。

一番のグッドポイントは行列との距離の近さ、そして観客の少なさ。笑

今年はあいにくの雨のせいか、去年より更に観客が少なく、特等席で見る事ができました。もうすぐ三歳になる息子もしっかり獅子舞に噛んでもらい、「きっと良い事あるぞ」と嬉しく思ってしまう親心でした。

祭り＝人ごみ＝暑いの方程式が頭の中で出来上がっている私は好んで祭りには行きませんでしたし、これからも進んで行くことは無いと思いますが、この人里離れた小さな温泉街で行われるお祭りは来年も、行きたいと思います。

随　想　投　稿　欄

僕はアル中？

㈱前野商会
前　野　幸　司

先日、13回目の１００万歩ウォークを達成しました。これは大阪金属問屋健康保険組合が年に２回（５月６月７月と11月12月１月）実施している３ヶ月で１００万歩ウォーキング運動のことです。一口に１００万歩と言いましても、距離にして約７００km（僕の歩幅は70cm）を歩くわけですから、この間は歩くプレッシャーがかなり、掛かります。

今回は92日間でしたから１日平均、約１万１０００歩を歩かないと達成出来ません。毎日１万１０００歩を歩くのは正直大変です、雨の日もありますし、用事で歩けない日もあります。ですから、ゴルフの日などに２万歩近く歩いて、貯金をしておきます。今回の結果は５月35万４５２９歩、６月34万５９６１歩、７月32万１２９０歩、合計１０１万９７８０歩で、何とか１００万歩を達成出来ました。

そもそも何故、僕が歩き出したかといいますと、15年前に医者から糖尿病を宣告され、運動と食事療法が大事と言われ、運動にと歩き始めました。始めの頃は苦痛で、膝を痛めたりして苦労しましたが、段々慣れてくると歩く喜びも出てきて、いつも車で通る道が歩くと景色が変わったりして楽しくなり、趣味の落語を聴きながら歩くのが習慣になってしまいました。所謂ウォーカーズハイ（歩かずにはいられない状況）です。毎晩食事の後、８時位から１～２時間、徘徊、いや歩かないと何か物足りなくなってきました。もう、こうなると立派な中毒です。ですから、そう、歩く中毒で、歩中です。（ある中）

そのウォーキングが高じて６年前から年に１回の24時間１００kmウォークにも挑戦し始めました。去年は10月19日の土曜日の朝、10時に大阪城を出発して、翌日10月20日の日曜日の午前10時までに神戸市垂水区の平磯緑地へ行って帰ってくるというコースで、復

路はずっと雨で苦労しました。

この24時間100kmウォークを５年続けた結果、去年は念願の銀メダルを頂きました。

では、人は何故、歩くのか？。江戸時代まで、一般人はそれしか方法が無かったので何処へ行くのも歩く。これがごく普通の当たり前ことでした。近年いろんな交通の方法が発達して人が歩くのを辞めてしまっただけのことです。元々、人間は歩く動物だったのです。

実際に今、歩いてみると、新しい発見があったり、出会いがあったり、新しい発想が生まれたり、楽しいことが沢山あります。

ですから、皆さんにも大いに歩くことをお勧めします。そして、歩く喜びを感じてください。

私の中のヒーロー

太陽ファスナー㈱
山　口　隆　平

幼少の頃は、周囲の子供と同様に特撮物のヒーローにあこがれて、仮面ライダーが好きだった私。親に変身ベルトをねだって買ってもらい、それをつけて遊んでいました。

好きなスポーツであるサッカーでは、すでに引退をしましたが、元イタリア代表のロベルト・バッジョが一番好きでした。残念ながら、今から20年前に開かれたアメリカワールドカップでのブラジルとの決勝戦では、5番目のキッカーとしてPKを外してしまい、「非運のヒーロー」と言われました。その後、スランプに陥り、所属チームを転々としましたが、その中で輝きを取り戻し、記録よりも記憶に残るプレーを見せてくれました。今では当り前のように使われる「ファンタジスタ」の語源は彼から生まれたものでした。

音楽の世界では、B'zがとても好きで、彼等がデビューした直後からのファンで、学生の時に買った初期のCD（もちろん初版限定品です。）はすごい価値があるのではと思っております。大阪で行われるライブには何度も足を運び開演前に流れるBGMが開演が近づくとともに音量が大きくなり、その雰囲気に飲まれて日常とは違った自分がいたような感じでした。子供が生まれ、ライブに行く機会も減り、彼らもかなりの歳になりましたが、今も私の中では変わらぬ存在です。そして今現在、私が最もヒーローと思えるのが、架空の存在ですが、「半沢直樹」です。世間の大半の人同様に「彼」のことを知ったのは、昨年放送されたテレビドラマシリーズからです。彼の真っすぐな態度、機転の早さ、それと泥臭いまでの努力、それが功を奏し流行語にもなった倍返しに繋がったと思います。当時放送が日曜日の晩だったので、勇気づけられた感じで月曜日に出社したのを思い出します。

また、実家がネジ屋さんだったのも何か引きつけられた様に思います。テレビドラマの最後では厳しい現実に直面しました。その後が気になり、続編の「ロスジェネの逆襲」も読破しました。序盤、半沢はあまり出て来ないのですが、その後の展開で彼が「仕事とは」どういったものかを語る場面があります。その言葉は、本当に当り前ですが、格好が良く誠実でありました。なかなかこんな事を実社会で言えないなと思いましたが、自分はこうでありたいとも思いました。

最近、発売された新刊の「銀翼のイカロス」を買い現在購読中です。まだ20ページほどしか読んでませんが、前作同様に引き込まれる内容です。そしてこれを読み終わった時には、また新しいヒーローが自分の中に生まれているかもしれません。

雑草

園田鋲螺㈱
園　田　徳　郎

雑草とは？。辞書などで調べると、人間の生活範囲に人間の意図にかかわらず自然に繁殖する生物（通常は草）のことであると定義されている。私はこの雑草が大嫌いである。

私の家は元々が農家であったため田畑を所有しており、日頃休日にはそれらの管理をしています。とは言っても農作物を出荷するわけでもなく耕作規模は家庭菜園に毛が生えた

程度でしかなく、大部分は何も作らず放置している状態である。この畑の天敵が雑草であり特に夏場は雑草との戦いになります。

雑草だけは種もまかず、水もやらず、もちろん肥料もやらないのに勝手に芽を出しすくすく育ち２～３週間もすれば草ボウボウという状態になります。そこで今週は此処、来週は其処と草刈りに追われることになり、やっと一回りしやれやれと思い最初の所を見てみるとなんと元の状態に戻っているではありませんか！。もう笑い話の世界である。

何も作物を作っていないのだから放っておいてもよさそうなものだが、近所に対して格好が悪いし何より隣の畑を作っている人に雑草の種が飛んだり、害虫が発生したり迷惑が掛かるのでそうもしてはおられない。根気よく畑は機械を使って耕し、畔等それ以外の所は草刈機でもって刈るしかないのです。

季節としての夏は好きなのだが、さすがに真夏の暑い時期に汗を滴らせながらの作業は結構きつい。よく都会に住んでいる方に畑の話をすると「自然が一杯でいいですね」とか「健康的でいいですね」とよく言われますが、熱中症にならないよう必死である。好むとか好まざるにかかわらずやらなければならないのです。

皆さんは土地を持ち（価値はほとんどない）羨ましがられるかも知れませんが、その陰には苦労も多いのです。日頃妻と「住むんやったらマンションがええなぁ」と話をしています。休日に好きなことをして、のんびりと過ごせるんですから、まあ無いものねだりなんですけど…。

さて、今日も暑いけど草刈りに行ってきます。

趣味は音楽ですが…

池田金属工業㈱
前　原　　聡

一口に趣味は音楽だと言っても、クラッシックから民謡、ジャズ、ブルース、ポップス、ロックなど、様々なジャンルがあり、聴く、歌う、踊る、演奏するなど関わり方も様々。

私の場合、５歳の頃に家族で出かけたデパートの催事場で、エレクトーンに出会ったのがきっかけだ。楽器の前からなかなか離れようとしない私に父が買ってくれたのだ。父は自作の大型スピーカーでジャズやクラッシックのレコード聴いたり、自己流のギター演奏を楽しんだりする人だったが、祖父の他界に伴い大学進学を断念し、三交替の工場に就職。社宅に住みながら祖母や父の兄弟への仕送りに大変な状況下で、まさかの大奮発だった。週１回レッスンにも通わせてくれた。毎日練習して年に１度の発表会を６回ほどしたころには、指導者としての登竜門である試験を受験した。中学一年生ではあったが、練習を継続することができれば誰でもそこに到達できる。それでも父と母は大変喜んでくれた。

この頃、自分ひとりで演奏を完結できるエレクトーンから、仲間と一緒にひとつの曲を合奏する楽器に興味が移り始めた。とりわけドラムに惹かれた。音楽の中でメロディーやハーモニーの美しさに感動したが、様々な楽器が同じリズムや違ったリズムを織り込みながら、ひとつのうねりが創り出されるのを聴くと鳥肌が立った。

音楽好きの同級生とバンドを組んだ。当時バンドの楽譜は高価で且ついい加減なものが多かったので、曲を聴き込んでは演奏を真似る、いわゆる耳コピをしていたが、それが楽しくて仕方がなかった。アルバイトして得たお金を楽器や練習費に充てて精力的にライブ活動をした。

大学卒業後も仕事をしながらメジャーデビューを夢見て活動した。業界の人からプロドラマーへのお誘いをいただいた事もあったが、自分が曲を書いていたバンドには拘りや思い入れが強く、個人での誘いを受けずにバンドとしての活動を貫いたが、結局鳴かず飛ばずだった。父と母は小言を言いながらもそんな私の成果のない行動を黙認してくれていた。

30歳前に仕事が忙しくなり、音楽活動を停止して仕事に没頭したが、どうにも仕事がうまくいかない。まさかと思いながら音楽活動を再開すると、仕事もうまく回り出した。

この時、自分にはこのバランスが大事なのだと悟り、50歳を超えた今も気の合う仲間と音楽活動を続けている。ただ、趣味だからといい加減にはしていない。手を抜くとなぜか仕事もうまくいかなくなるのだ。この世界が違う仕事と趣味の両立は、辛い事も多いが好きな事で人の役に立てるというこの上ない喜びがあり、また意外にも仕事に役立つ事が多い。

自分に家族が増えて気付いた喜びもある。子供は親の笑顔を見たいがために努力するというが、親は子供の笑顔を見たいがために頑張れるという事を、子を持つ親になって実感した。孫の顔を見せることができなかった亡き父に、音楽との接点を与えてくれた事に対して感謝の気持ちが大きくなるとともに、自分の子供たちにも、何であれ興味を持つ機会をできる限り増やしてやりたいと思う。

趣味を続けるには家族の理解が必要不可欠。家族の理解に感謝しつつ、体が動く限り、どちらも真剣勝負のバランスで歩んでいく。

「ヨットレース」について

㈱ナニワネジ
矢　野　裕　一

私は３年前にも投稿させて頂きましたが、その時のテーマは「ヨットで社員研修」でした。今でも我が社では継続して「ヨット研修」を実施しており、特に新入社員にとっての名物研修として定着しています。

私はヨットを始めて30数年経ちますが、今回は「ヨットレース」について、お話ししたいと思います。「ヨットレース」と聞いてもスポーツと言った印象は少ないのではないでしょうか？。実際には、非常にスポーツ性に富んだ体力を必要とする競技なのです。

私がクルーとして乗船していたヨットは、「ファー31」と言う全長９ｍ強のレース艇でした。そのヨットを走らせる為には、スキッパーと呼ばれる艇長１名とクルー７名の計８名が乗船します。

７名のクルーは、スキッパーが操船するヨットを少しでも早く走らせる為に、様々な作業を夫々が完全に分担して担っています。

私が担当していたのは、その中の「バウマン」と言う、ヨットの船首での作業を受持つポジションです。ヨットの船首でスタートをリードしたり、セイル（帆）を交換するのが私の役割です。１隻のヨットを走らせるために、８名の人間が連携して作業を行います。スムーズに（無駄なく）ヨットを走らせる為には、クルー同士の信頼が重要なポイントとなります。ヨットの進む方向を変えると、セイルの角度を調整したり、新たなセイル（スピンネカー）をセットしたりと７名のクルーが同時に作業を熟す事もあります。

そんな時、一人でも作業が遅れると、全ての作業が影響を受け、思うところで舵を切ることが出来ずに相手艇に追い抜かれることに成ります。しかし、クルーの息がぴったり合った時には、相手艇の横を「ス～」と抜き去ります。この時の喜びは、何物にも代えがたいもので、「ヨット」と「仲間」が大好きになります。

あるシーズン、私が所属していたヨットチームは、レースに出場する度に優勝していました。こんな時は、前を走るヨットを「必ず追い抜く、抜ける」と全員が思っています。すると、不思議なもので追い抜くことが出来るのです。

気持ちだけでは勝てないのでしょうが、不思議なものでチーム全員が一つの目標（勝つ）を完全に共有した時には、思わぬ力（結束力）が出るものだと実感した経験があります。

我が社に於いても、社員の「結束力」に対する意識の向上を目指していましたので、そんな中で発足したのが「ヨット」での社員研修でした。

今では、レースに参加することも殆どありませんが、自艇で淡路島や和歌山方面へのクルージングやセイリングを楽しんでいます。



2015年 ファスナーカレンダー ねじ手帳 ビジネスダイアリー 発刊

業務委員会　納期は11月20日予定

業務委員会（垣内龍夫委員長）は、2015年（平成27年）版ファスナーカレンダーやねじ手帳、A5ノート版ビジネスダイアリーの発刊準備を進めてきましたが、いずれも８月22日で予約申し込みを締め切り、日本ねじ商連傘下の他組合および員外者からの受注を含め、現在発行部数を集計中です。

〔2015年版ファスナーカレンダー〕

規格＝Ａ２版三色刷り縦型、厚手の高級再生紙使用、表紙付き７頁。綴じ方は環境に配慮したエコプレス（紙製）。今回もカレンダー6枚の地色を１枚ごとに変更しています。

掲載ねじ製品写真は、市場価値の高い製品を選び、かつ一般に広く用いられるよう呼び名と英文名を付し「ねじ製品の一覧表」としても利用できるよう配慮。イラスト入り“ねじ安全使用取扱”説明も更新しました。

〔2015年版ねじ手帳〕

寸法＝縦型（縦150mm×横92mm）。総224頁－切り取りミシン付きメモ16頁を追加。ねじ一覧表－写真付き12頁。ねじ重量表、ねじ規格表40頁。鉄道路線図、他。

表紙高級ビニール装。表紙の色は茶。栞（しおり）代わりのリボンはチョコとクリームの２本。のし袋付き。「ねじ重量表（第３版）」より主要製品の重量表、規格表を掲載し、加えて「ファスナーカレンダー」より写真・製品名をねじ一覧表として追加しています。

〔2015年版A5ノート版ビジネスダイアリー〕

寸法＝縦型（縦210mm×横148mm）。総208頁（ねじ一覧表－写真付き12頁。ねじ重量表、ねじ規格表40頁。その他。表紙高級ビニール装。表紙の色は淡緑。ロゴは前年同様。のし袋付き。

ねじ重量表、規格表、ねじ製品写真による一覧表の体裁は、ねじ手帳と同様です。

いずれも年末・年始の贈答用として11月20日納期に向け準備中です。

コノエAチームが連覇

福利厚生委員会　第40回ボウリング大会

恒例の第40回ファミリーボウリング大会が、福利厚生委員会（本田裕久委員長）の企画・運営により２月23日、大阪市港区の“弁天町グランドボウル”にて開催され、参加35チームの中でコノエＡチームが昨年に引き続き1707点の好成績で優勝しました。

当日は17社と同委員会から計35チーム・105名が参加、本田委員長による開会挨拶の後、勝亦良彰副理事長が始球式を行い競技開始となりました。

１チーム３名編成で３ゲームによる計９ゲームトータルの競技終了後、表彰式が行われ、優勝したコノエＡチーム（岡田恵美子、古津大介、橋本淳一の各氏）を始め、優秀な成績を残したチームや個人に小林理事長からトロフィーや記念品が手渡されました。

主な結果は次の通り（敬称略）。

▽団体（得点は9Gトータル、ハンデを含む）
優勝＝コノエ 1707点、
準優勝＝野島製作所 1669点、
③隅田鋲螺製作所 1543点。

▽個人（３Ｇトータル、同・男子）
優勝＝海中一泰（野島製作所）593点、
準優勝＝橋本淳一（コノエ）571点、
③中谷圭吾（大丸鋲螺製作所）570点。
同ハイゲーム　古津大介（コノエ）218点。

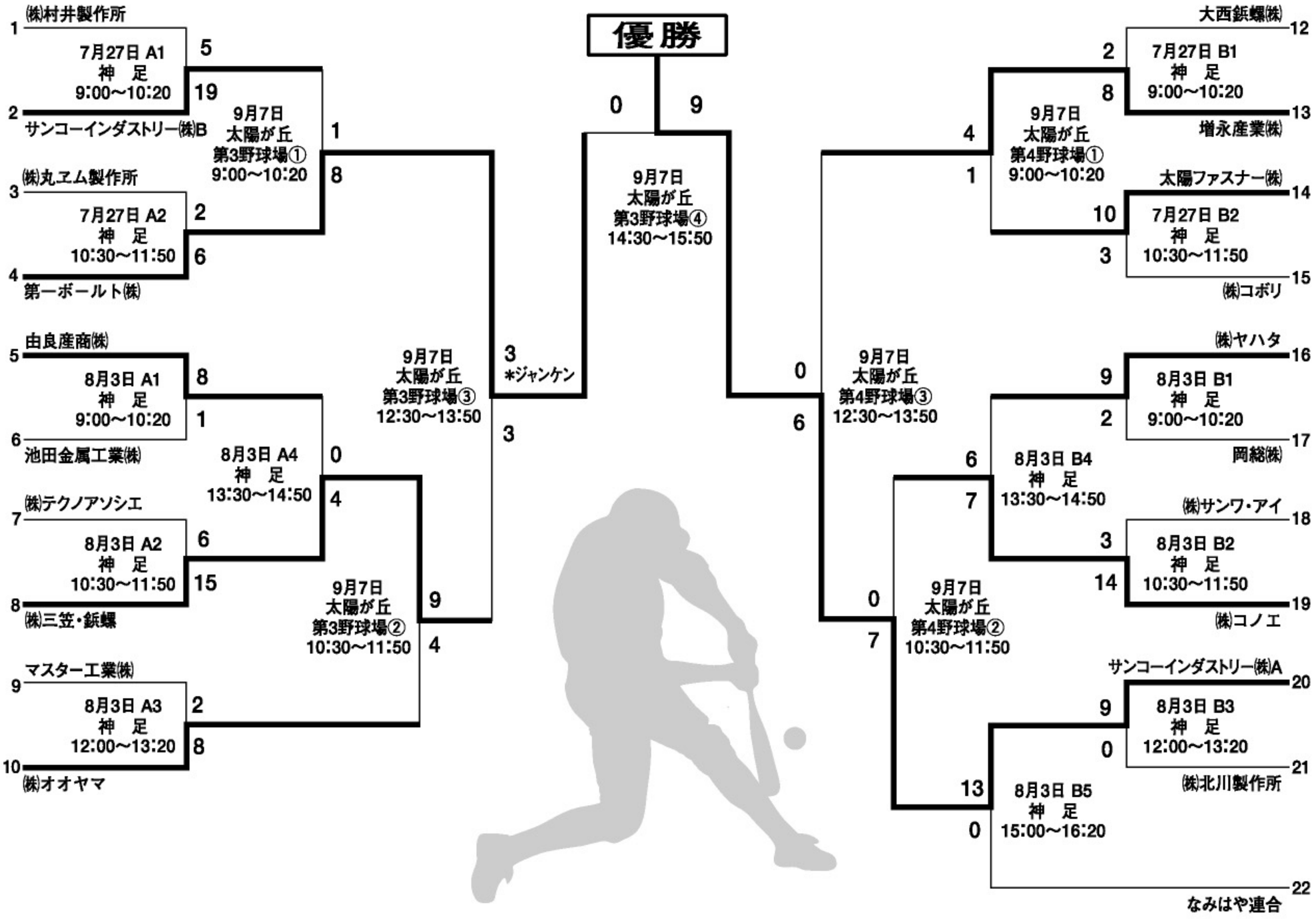
▽個人（同・女子）
優勝＝海中美幸（野島製作所）619点、
準優勝＝岡田恵美子（コノエ）598点、
③間部由美（筑紫）558点。
同ハイゲーム　海中美幸（野島製作所）206点。


男子の上位入賞者


女子の上位入賞者


優勝したコノエ（中央）はじめ上位入賞チーム

大鋲協第66回野球大会



サンコーインダストリーが“V2”

第66回野球大会　準優勝は第一ボールト

第66回野球大会・決勝戦は９月７日、京都府宇治市の山城総合運動公園・太陽が丘球場で行われ、サンコーインダストリーＡチームが第一ボールトチームを９－０で下し、２連覇を果たしました。

終了後の表彰式では、昨年に引き続き優勝したサンコーインダストリーＡチームに深紅の大優勝旗や大阪府知事杯、大阪市長杯、理事長杯などの記念カップ並びに表彰状や盾が小林理事長から授与されました。また準優勝の第一ボールトチームにも表彰状や副理事長杯などが手渡され、運営に携わった福利厚生委員会や両チームの応援に駆けつけた関係者らの健闘を称える拍手に迎えられました。

なお監督推薦による個人賞では、主将としてチームをまとめ、４回裏には追加点のチャンスメーカーとなった若狭邦彦選手（サンコーインダストリー）が最高殊勲選手賞に、この日の第１試合でホームラン２本を放ち、決勝戦では投手として強豪打線に立ち向かった辻舞佳瑠選手（第一ボールト）が敢闘選手賞に輝きました。



優勝したサンコーインダストリーＡチーム



準優勝の第一ボールトチーム

藤本産業チームが優勝
福利厚生委員会　第5回硬式テニス大会

福利厚生委員会（本田裕久委員長）は、2月2日「第５回大鋲協硬式テニス大会」を大阪市此花区のシーサイドテニスガーデン舞洲にて開催、当日は計11チームが出場し、藤本産業チームが優勝を飾りました。

同大会は2008年から始まり、当初は昨年11月に開かれる予定でしたが雨天のため順延、この日の開催となったもの。

試合は大鋲協組合員・従業員・その家族を参加対象とし、男子・女子ダブルスの団体戦で行われ、予選で勝ったチームは決勝トーナメントに臨み、予選で負けたチームはコンソレーショントーナメントで試合しました。

結果、決勝トーナメントにて優勝に輝いたのは藤本産業チーム、準優勝は谷川精螺チームでした。


優勝した藤本産業チーム

藪本光彦氏（ヤブモト工業）が優勝
第12回 大鋲協懇親コンペ

第12回親睦ゴルフコンペが３月22日、奈良県天理市の春日台カントリークラブで行われ、藪本光彦氏（ヤブモト工業㈱社長）がＮＥＴ76.2の好成績で優勝を飾りました。

大鋲協では春・秋の年２回、同好の士で懇親コンペを開催しています。当日は午前８時26分、晴天のもと中コースからスタートし、競技は午後からの西コースを含め新ペリア方式で争われました。

上位の成績は次の通り（敬称略、数字は中、西、グロス、ハンディキャップ、ＮＥＴの順）

◇優勝　藪本光彦（ヤブモト工業㈱）
　45、48、93、16.8、76.2

◇準優勝　鈴木啓次（アサヒアペックス㈱）
　43、43、86、9.6、76.4

◇３位　和田　正（㈱ヤハタ）
　45、44、89、10.8、78.2

神戸製鋼所の見学会に30社･67名が参加
労務委員会　特殊鋼鋼材の生産を実地研修

労務委員会（藤澤義弘委員長）主催による㈱神戸製鋼所の見学会が、６月17日午後１時から神戸市灘区の神戸製鉄所にて行われ、参加した30社・計67名の社員らは高炉による製銑から製鋼、圧延に至るダイナミックな特殊鋼鋼材の一貫生産の模様を実地研修し、見識を広めました。

参加者は昼食後、徒歩で地域交流施設として開設した『灘浜サイエンススクエア』に向かいました。２階ホールにて㈱神戸製鋼所専務執行役員の藤井晃二・神戸製鉄所長による歓迎挨拶を受け、藤澤委員長の御礼挨拶、ＤＶＤによる概要説明の後、ヘルメットや防護メガネ、見学者用コートなどを着用し３台のバスに分乗、高い塀と大型シャッターで隔離された製鉄所敷地内へ進みました。

㈱神戸製鋼所は、加古川（兵庫県）と同所に製鉄所を有し、神戸製鉄所は年間粗鋼生産量120万トン、主として自動車用線材や棒鋼を生産しています。その最終製品類は、自動車向けでは懸架ばね（線材）や弁ばね（同）、ボルト・ナット（同）、ベアリング・軸受け類（線材・棒鋼）、コンロッド・クランクシャフト・ギア・等速ジョイント・ハブ（いずれも棒鋼）ほか、鉄筋や長大橋用ケーブルなどに使用されています。

特に神戸製鉄所はベイエリアながら“都市型製鉄所”として１基の高炉を中心に、転炉、連続鋳造、分塊から、線材、棒鋼、鋼片加工の各工場が107万m²の敷地にコンパクトに配置されています。また敷地内には神戸市のピーク電力の約70％を賄うことが出来る総出力140万kWの発電所も設けられ、製鉄所内の使用電力はもとより、神戸市への売電事業も行っています。

一行は車中から高炉および転炉工場、徒歩で分塊・線材工場などを見学しました。線材工場では、予め300×430mm×10mのブルーム（中間製品）から更に155mm角に分塊圧延されたビレットが独自開発の「自動きず見・きず取装置」を経て、粗列・中間・仕上の各圧延機によりφ5.5～φ22mmの特殊鋼線材として加工される現場や、相互に傷を付けないよう立体倉庫で保管される線材管理の様子、原料となる鉄鉱石を運搬する大型船が直接横付けできる岸壁なども見て回りました。

最後の質疑応答では、参加者から需給バランスに伴う材料価格問題が提起されました。これに対し同社からは、神戸製鉄所では年間粗鋼生産量約１億トンの僅か１％程度しか生産しておらず、特殊鋼だけに市況にあまり左右され難く、より高級鋼種化・高品質化要求に応えていくことで差別化を図っていきたいなど、有意義なやりとりが行われ見学会を終了しました。


高炉をバックに参加者の記念撮影

第27回 FE STセミナー開催

労務委員会　21社から42名の社員が受講


講義する北井氏

労務委員会（藤澤義弘委員長）主催の第27回ＦＥ（ファスナーエンジニア）スタンダードセミナーが２月28日～３月１日の２日間、大阪市中央区の鐵鋼会館で開催され、ケーエム精工㈱の北井敬人会長を講師に21社・42名の社員が熱心に学びました。

ＦＥスタンダードセミナーの目標は、受講生たちが各企業にて社内ねじ技術講習の講師として活躍できる力を身に付けることとし、主に入社３～５年目の社員を対象とした内容になっています。講義内容は①ねじの規格、②材料、③熱処理強度、④表面処理、⑤品質管理の五分野について構成され、知識に関わる講習とその習熟を図る演習問題との組み合わせで構成されています。

初日は開講式を行い、続いてひと単元60分ずつで「ねじの規格講習」「ねじの規格演習問題」、昼休憩を挟んで「材料講習①」「材料講習②」「材料演習問題」「熱処理強度講習①」の６単元の講義が行われました。２日目は午前に「熱処理強度講習②」「熱処理強度演習問題」「表面処理講習」、昼休憩ののち午後は「表面処理演習問題」「品質管理講習」「品質管理演習問題」「修了試験ならびにアンケート」の７単元を実施し、最後に閉講式を行って全スケジュールを完了しました。

この中でも単位換算に関する演習問題は、２日間の講義全体を理解するための基本であることが力説され、講義の比較的初めの方で解説・演習がなされました。長さ（インチとメートルの換算演習）、力（キログラム重とニュートンの換算演習）、10の整数乗倍であるｎ、μ、ｍ、ｋ、Ｍ、Ｇなどについて演習問題を解き、基礎を確認しました。

修了試験問題は、２日間の講義の中で解いた演習問題の中から選ばれ出題されました。70点以上の得点を合格とし、採点ののち後日試験結果が受講生たちの各会社へ送付されました。70点未満であった場合は追試問題も用意されており、これも採点ののち返却されます。

ＦＥセミナーは、２０１２年からジュニアとスタンダードに分けて行われています。受講生の習熟度をこれまで以上に高め内容の更なる充実を図るため、より応用力の養成を目指すのがスタンダードセミナー。ジュニアで基礎を固めた後、スタンダードでより実践的で

掘り下げられた内容を学びます。また、ジュニアセミナーとスタンダードセミナーはともに、今後設置予定のＦＥ　ＰＲＯ検定に繋がるセミナーとして位置付けられています。

　これに伴いテキスト改編も行われ、スタンダードセミナーでは、六角ボルトナットＪＩＳ規格改正の解説と演習問題を削除、ねじ強度に関する解説を材料講習から熱処理講習に移設、単位換算に関する演習問題を追加、ＳＷＲＣＨとＳＷＣＨのＪＩＳＧ３５０７への統合について記述、熱処理強度講習と表面処理講習の演習問題を分離、標準偏差に関する解説の追加などが行われています。



会場の様子

法政大学研究チームによる「ねじLOD」が最優秀賞に

大鋲協 Nシステムのデータベースを利用

　３月７日慶応義塾大学で行われた「ＬＯＤチャレンジＪａｐａｎ ２０１３」コンテストの授賞式で、法政大学理工学部・藤井章博教授と同研究室の学生・江上周作君、清水宏康君による、大鋲協「Ｎシステム」データベースを基にした研究「ねじＬＯＤ」がデータセット部門の最優秀賞を受賞しました。

　ＬＯＤ（Linked Open Data）は、近年急速に広がりを見せつつあるインターネットの新しい技術。従来の「ホームページ」の形ではなく、ネット空間上に直接置かれたデータをお互いにリンクさせ広く利用するという概念の下、最近では行政も積極的に各種データをオープンにするなど幅広い取り組みが始まっています。

　ＬＯＤチャレンジは今回で３回目。ＩＢＭや富士通、ＮＴＴコミュニケーションズ、日本マイクロソフト、ｇｏｏほか多数の企業スポンサーを集め、地方公共団体からのデータ提供、さらには経済産業省や総務省など国の各機関からも後援を受けるコンテストです。アイデア、データセット、アプリケーションなどの部門別に最優秀賞と優秀賞各１チームが選ばれ、同時にスポンサー賞や審査員賞なども選考されます。部門をまたがる「大賞」は設定されていないため、部門の最優秀賞がこのコンテストでの最高の賞という位置付けとなります。

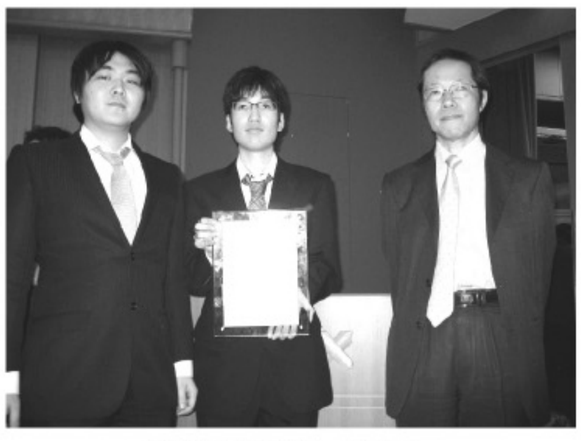
　藤井章博教授と「Ｎシステム」との縁は約３年前に遡ります。当時から交流のあった㈱コノエに、ねじ業界のデータベースについて相談したところ、紹介されたのが当時のねじ企業間情報処理研究会（Ｎ研）の大喜多克己代表幹事でした。そこでＮ研データベースの提供を受け研究に利用していましたが、Ｎ研が解散となりデータベースが大阪鋲螺卸商協同組合に受け継がれた折、改めて大鋲協から研究利用の許諾を受け、研究を続けてきました。その後、藤井教授の指導の下、研究室の江上・清水両君がＬＯＤの仕組みにＮシステムデータベースを載せる研究を進め、今回の受賞に繋がったもの。

　主催者からは「工業製品に関するＬＯＤという、これまでにない作品です。データセットの公開についてはＬＯＤのお手本のようですし、ＣＡＤ図面との連携といった応用例も良いです。ものづくりのＬＯＤの可能性を示しており、今後の展開に期待します」というコメントとともに、「審査の席上では『シブい！』という声も聞かれた」という裏話も。

　授賞式後、藤井教授から、駆けつけた大鋲協の大喜多正己ＥＤＩ委員長に対し、「提供されたデータベースがあってこその受賞でした」と謝意が表され、また将来はねじにとどまらず幅広い工業製品に対象を拡げ、日本のものづくりに貢献できれば…とするビジョンも併せて伝えられました。



最優秀賞の賞状



祝いに駆けつけた
大喜多委員長（右）と江上君、清水君

シリーズ 私の宝物

「開けることのできない宝物」

今里金属㈱
大　江　伸　生

それは私が自我に目覚めた中学二年の春から大学二年頃まで書き綴った日記、小説、詩、走書(はしりがき)などを保管しているダンボール一箱です。表(おもて)に「六十歳になったら開けてみよう」と書いてある。その歳になると余裕をもって過去の自分をみつめられる予感があったのでしょう。

自我に目覚めた日は今でも鮮明に覚えています。朝、井戸端で洗顔し睡気を覚ますと世の中の景色が一変してしまいました。白黒(しろくろ)の世界が極彩色に、平面の世界が立体的に……。花、草木、風、雲、川の流れ……、すべてが私に存在を訴え、右手が反応し書き留めました。

平成十年、現代日本の詩人に選ばれ出版の依頼を受けました。国際コード番号、国立国会図書館保存の条件がありました。墓碑に銘を記すよりも粋(いき)であるとその気になりましたが、私の詩の主力六点はすでにコンクールで入賞し、賞金を得て、著作権は移行しています。

それでも私には奥の手がある。「そう、ダンボールの中には詩、小説の題材が限りなく眠っているはず……」軽いノリで開封したのが今日まで祟(たた)る禍根となりました。「この人誰よ？」箱の中には今の私とは真逆な人格があり、思春期に蹲(もが)く私がいた……。

一割ほど読み解くうちに胸を締めつけられ先に進むことを諦めました。

中学・高校・大学の学生小説コンクールに投稿した作品が悉(ことごと)く入賞し高い評価を得ました。その頃の私にはその評価が理解できませんでした。ダンボールを開封して作品を読み返した時の驚(おどろ)き……。「魂の叫び」とはかくも迫力があり、切れ味があるものか……。

漸(ようや)く納得できました。

平成十四年芥川賞の登竜門、文学界十二月号に応募しました。事前のやりとりで原稿用紙百枚前後という条件がでました。一気呵成で完成させましたが、三十八枚で止まりました。「百枚の約束です。」とつれない返事をいただいたのは言うまでもありません。原稿用紙百枚をクリアするためには、入念な構成、取材が必要となります。

現在の私の文体は「広辞苑」をクリアし自分の作風に沿う辞典を完成させた語彙(ごい)の豊富さと、技巧に走り勝ちで、思春期の切れ味は失っています。切れ味を復活させるためには「私の宝物」を開封し過去の作品群に浸ることしかありません。……が……きっと……。そこには……。

近し人達
心ときめいた女(ひと)達
お寺の鐘楼をとり囲む桔梗
神社に春を告げる椿の大木
細小川(いささ)の段差の片隅で神々(こうごう)しく光る水芭蕉
思春期特有の喜怒哀楽の交錯(こうさく)……。

硝子細工(がらすざいく)の迷路の中で私は立ちつくし、過去を美化することも、懐かしむことも拒絶する等身大のリアリティが私の胸を締めつけるはず……。

表紙のことば

蓮池潭　龍虎塔

木村ねぢ産業㈱　木村　嘉兼

中央支部旅行、５月30日から２泊３日で台湾に行ってきました。参加人数14名、初日は高尾に降り市内観光（高尾泊）、２日目は台中に移動し日月潭を観光後台北へ（台北泊）、最終日は台北市内観光後帰国、天候にも恵まれ、短いながらも非常に充実した行程となっておりました。

出不精の私にとって、こういう機会でないと海外に行くことはおそらく無い為、非常に貴重な経験をさせてもらいました。

写真は、初日に行った蓮池潭の龍虎塔（撮影㈱北川製作所・北川浩史氏）、色鮮やかで綺麗な台湾独特の建築様式。龍の口から入って虎の口から出てくると、ご利益があるそうです。

今後の主な年間スケジュール

2014.9

日　時				行　事（予　定）	場　所
9	10	水	13:30	三役会	事務局
	10	水	15:00	理事会	健保会館
	22	金		広報誌（87号）発行	
11	7～8			第21回 FEセミナー（図面の見方・描き方）	テクノセンター東大阪
	9	日		第6回テニス大会	シーサイドテニスガーデン舞洲
	12	水	13:30	三役会	事務局
	12	水	15:00	理事会	健保会館
	14	金	9:30	第3回 FEセミナー（Jrコース）	鉄鋼会館
12	5	金	16:30	講演会	ホテルモントレグラスミア大阪
	5	金	18:30	忘年会	ホテルモントレグラスミア大阪
2015 1	9	金	10:00	新年互礼会	ヴィアーレ大阪
2	20	金		広報誌（88号）発行	
	20	金	14:30	三役会	ヴィアーレ大阪
	20	金	16:00	理事会／役員懇親会	ヴィアーレ大阪
	22	日	9:30	第41回ボウリング大会	弁天町グランドボウル
3	6～7			第28回 FEセミナー（Stコース）	鉄鋼会館
	11	水	13:30	三役会	事務局
	11	水	15:00	理事会	健保会館
4	22	水	11:30	三役会	事務局
	22	水	14:00	理事会	健保会館
5	22	金	14:00	通常総会（理事会）	ヴィアーレ大阪
6	10	水	13:30	三役会	事務局
	10	水	15:00	理事会	健保会館
7	中旬			ねじ流通商社経営実態調査	（8月回収）
	24～25			第40期日本ねじ商連通常総会	有馬グランドホテル（大鋲協担当）
	27	日		第67回野球大会①	村田機械（神足球場）
8	2	日		第67回野球大会②	村田機械（神足球場）
	未定	日		第67回野球大会③	未定

＊6月以降は予定です。

編集後記

寄稿いただいた皆さんには心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さておき、今年は水害の多い年ですが、水商売の綺麗な人たちに不毛な出費がかさむのは“水害”？…とは言わないですね。何にせよ、出来ることなら、しっかり備えたいものです。

（中上真一）

発行所
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
（ツチノビル）
大阪鋲螺卸商協同組合
電 話 （０６）６２７１－４５５０

印刷所
〒537-0013 大阪市東成区大今里南2-5-5
株式会社 ベン・アート
電 話 （０６）６９７３－３３３８

大阪鋲螺卸商協同組合の保険相談窓口

大阪鋲螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご活用ください。

取扱商品





- 医療・がん・傷害保険
- 生命保険
- 自動車保険
- 超保険
  超ビジネス保険
- 火災保険
- 賠償責任保険

＊生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命（株）の商品で（株）東海日動パートナーズかんさい 大阪南支店にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

大阪鋲螺卸商協同組合
担当：中西
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10 ツチノビル
TEL 06-6271-4550　FAX 06-6271-0514

提携代理店　株式会社東海日動パートナーズかんさい
大阪南支店　担当：井上
〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-6-8 一栄ビル4F
TEL 06-6649-6727
FAX 06-6649-6715

引受保険会社　東京海上日動火災保険株式会社
大阪南支店　直轄S
TEL 06-6212-3531